

台風第12号による影響について(第1報)

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒)

<ポイント> 九州の西海上の熱帯低気圧が発達して、21日(木)9時には台風第12号が発生した。台風は22日(金)にかけて九州に上陸して、九州南部では22日にかけて大雨となるおそれがある。特に鹿児島県(奄美地方を除く)では、21日夕方から22日夕方にかけて線状降水帯が発生して、大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性がある。

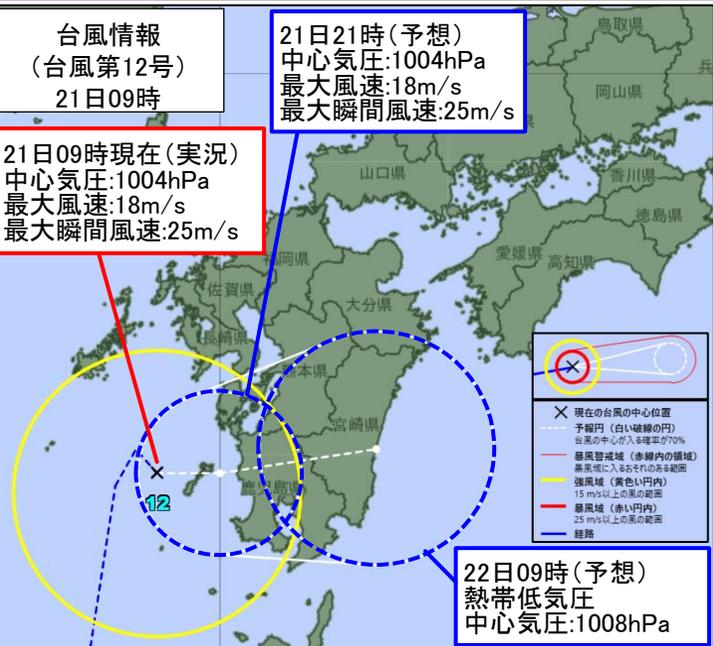
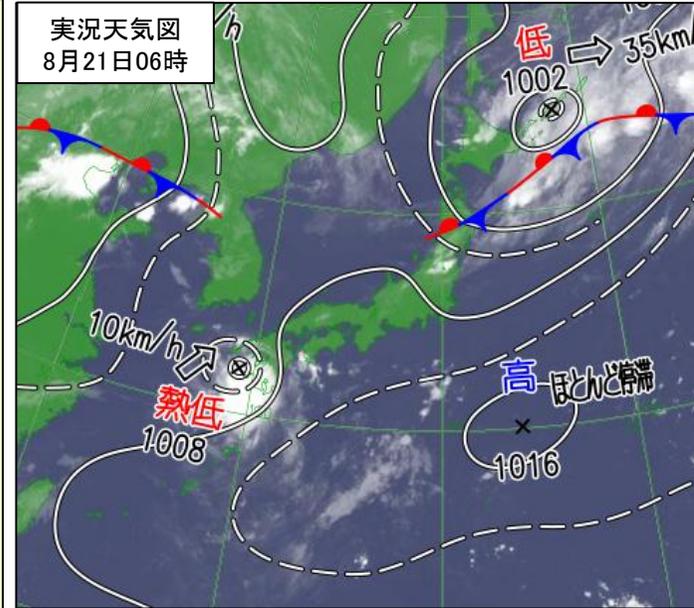
<概況> 21日9時に台風第12号が発生した。台風は21日9時現在、薩摩川内市の西にあって北東に進んでいる。台風は22日にかけて九州に上陸するおそれがある。また、暖かく湿った空気や強い日射の影響で、北日本から西日本にかけては21日は、大気の状態が非常に不安定となる所がある。

<大雨> 九州南部では、台風周辺の暖かく湿った空気や台風本体の発達した雨雲の影響で、21日から22日にかけて雷を伴って非常に激しい雨※1が降り、大雨となるおそれがある。特に鹿児島県(奄美地方を除く)では、21日夕方から22日夕方にかけて線状降水帯が発生して、大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性がある。北日本から西日本にかけては雷を伴って非常に激しい雨が降る所がある。

<強風・高波> 九州では21日から22日にかけて強い風が吹いて、うねりを伴って波が高くなる。台風が発達した場合は、九州南部で警報級の暴風となる可能性がある。

<警戒事項> 九州南部では21日から22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、暴風に注意・警戒。6日から12日にかけての大雨で被害を受けた地域では、通常よりも少ない雨でも災害の危険度が高まる可能性がある。西日本では21日から22日にかけて強風や、うねりを伴った高波に注意。北日本から西日本にかけては、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。

※1 非常に激しい雨:1時間に50ミリ以上80ミリ未満の雨



【警報級となる可能性のある期間】 (黄色:可能性がある、赤色:可能性が高い)

時	21日			22日
	12~18	18~6	6~24	
北日本	北海道地方 大雨			
東日本	関東甲信地方 大雨			
	北陸地方 大雨			
	近畿地方 大雨			
西日本	中国地方 大雨			
	九州北部地方 大雨			
	九州南部 大雨			
沖縄・奄美	奄美地方 大雨			

【大雨の見通し】 (単位:mm 多いところ)

地域	22日12時までの 24時間雨量	23日12時までの 24時間雨量
北海道地方	60	80
関東甲信地方	80	50
北陸地方	60	50未満
近畿地方	60	50
中国地方	70	50未満
九州北部地方	80	60
九州南部	250	150
奄美地方	100	80

